



# 株式会社 さんれいフーズ

●卸売業・小売業／飲食料品卸売業

## 「食の幸せ」を地域社会と創る 成長を続ける総合食品企業

さまざまな食の現場を支える《さんれいフーズ》。山陰の特産を生かした冷凍食品も製造・販売し、全国に展開。2024年には製造・流通・販売を一体化し、さらなる進化を続けている。

13  
LEADING COMPANY

ワンチームで成長していくことを目指しています」と並河元社長はその目的を話す。合併により全体のスリム化や業務効率化を実現するほか、新たな連携が生まれることが期待されている。「今後、力を入れたのは高付加価値な商品・顧客サービスを生み出すこと。組織がシンプルになったことで、新たなチャレンジや部門間での連携が活発になり、新しい価値を生み出していったほしいです」と言葉に熱がこもる。

組織再編に伴い、拠点や部門間を横断する6つのユニットも新設された。販売状況や顧客ニーズなどの情報を共有してスピーディーに反応し、提供するモノ・サービスの付加価値を高めたい考えだ。その土壌をつくるため、開発・製造・販売が三位一体となり取り組む「開発マーケティング研修」もスタートしている。

3社合併より早い2023年12月には、新販路の開拓を目的にECサイト《イルナス》をオープン。「これまでBtoB中心でしたが、食に関わることは全方位で対応していきたいとBtoCの領域にも踏み出しました」。質の高い品でろえに利用者の満足度は高く、リピーターや新規利用者の増加が見込まれる。

再編や新規事業など、今はまさに会社の変革期と言えるが、社員が前



代表取締役社長執行役員  
の並河元氏。働く人を中心  
に置いた経営を掲げ、賃金  
の引上げ、年間休日の増加  
など福利厚生の実現も図る

向きに挑戦を続けるには、心理的安全性が保たれた、働きやすい・働きたいのある環境が整っていることが重要だ。同社では「働く人の幸せ」を重視して、2023年から社員の心身状態を把握するための月一回のサーベイを実施。調査結果をもとに働きやすい環境の整備に努めている。

新たな価値の創造を目指し組織再編を行った同社。新たに「食の幸せ」を地域社会と創りつづける」という使命を掲げ、2032年までに200人の増員を目指す。「働く人にとっても、お客様や地域にとっても、もっと良い会社になると信じています。総合食品企業としてのステージを上げていくことを目指しています」と並河社長の声は力強い。

新生さんれいフーズで目指す  
価値あるモノ・サービスの提供

ガス・エネルギー・自動車販売・食品を扱う《山陰酸素グループ》の主要企業であり、米子市に本社を構える《株式会社さんれいフーズ》。「この地に生きる」という経営理念のもと、「食」を通じて地域の暮らしと産業を支えている会社だ。

1972年、母体の《山陰酸素工業株式会社》から独立し、2002年には年商200億円を達成。約3万種を扱う業務用食材卸の最大手として、地域の外食・中食産業を支えている。食品メーカーとしては、山陰の特産物のベニズワイガニをはじめ、その特色を生かしたさまざまな自社ブランドの調理冷凍食品を製造・加工。全国の量販店や外食チェーンに販売している。

2024年4月、子会社で水産加工工場・冷凍食品工場を持つ《さんれい製造》と総菜製造の《マルテSF》を合併し、総合食品企業として新たなスタートを切った。さんれいフーズの「販売」機能に、2社の「製造」「開発」機能が一体化した新生さんれいフーズの誕生だ。「社会や消費者のニーズ、国際情勢の変化に対応するために、組織の見直しを行いました。3社の壁を取り払い、





## 株式会社 さんれいフーズ

創 業 昭和47 (1972) 年4月

代表者 代表取締役 並河 元

社員数 550名 (男314名 女236名)

本 社 鳥取県米子市旗ヶ崎2147

### 事業内容

業務用食材卸売、自社製品の開発・製造・販売

### 勤務地(採用エリア)

松江市、出雲市、安来市、米子市、  
鳥取市、境港市、岡山県、兵庫県、  
東京都

### 採用区分

新卒採用

キャリア採用

### インターンシップ・キャリア

**有** 公式サイトの採用情報にある「インターンシップ・会社説明」およびマイナビにて、日程などを随時更新。

### 採用担当者からあなたへ

私たちは、美味しい・楽しい食事の想い出や笑顔をつくる、山陰の食産業を支えています。飲食店やスーパーなどを通じて美味しい食を山陰に、そして全国・海外へお届けしています。食に関わる仕事がしたい、食で地域貢献したい。そんなあなたをお待ちしています！

人事部  
齋尾 海空さん

採用に関するお問い合わせ先

0859-33-6243

公式サイトは  
こちら



Instagramは  
こちら



マイナビは  
こちら



## さんれいフーズをもっと知りたい！



1日のスケジュールは？



A. 安来支店に勤務する、2年目の自社製品営業（関西担当）スタッフの1日を紹介します。内勤と出張が半々くらいですが、今回は1泊2日の展示会出張時のスケジュールです。

### 1日目

- 7:30-11:00 関西へ移動
- 11:00-12:00 商談先訪問
- 12:00-14:00 移動・昼休憩
- 14:00-15:00 商談先訪問
- 15:00-15:30 移動
- 15:30-16:30 展示会設営
- 16:30-17:00 宿泊先へ移動

### 2日目

- 7:30-8:00 展示会会場へ
- 8:00-10:00 展示品等準備
- 10:00-16:00 展示会  
商談・商品PR
- 16:00-16:30 片付け
- 16:30 移動・帰宅



子育てや介護などの  
両立支援制度は  
ありますか？



A. 産前産後休業、育児休業、介護休業の制度があります。育児休業からの復帰後は、子どもが3歳になるまで6時間などの時短勤務も可能で、時短で働いている社員も多くいます。仕事内容も部署で相談のうえ、柔軟に働くことができます。個別の事情も考慮しながら、多様な働き方を支援しています。



社員に好評な  
福利厚生は？



A. コロナ禍をきっかけに導入した《社食ごめし》は、地域の飲食店を「社員食堂」として利用できる食事の福利厚生サービスです。専用の電子チケットを使って全国の登録店舗で支払いができる仕組みで、毎月2500円分が会社から支給されます。社員からは「職場の食事に利用してコミュニケーションを深めている」「出張先で使えてうれしい」といった喜びの声が多数出ています。



配属先はどのように  
決まりますか？



A. 応募の際に職種の希望を提出してもらいます。面接では応募いただいた希望職種と希望勤務地（エリア）などを確認していきます。内定後にも複数回の面談を行いながら、希望を考慮したうえで2月頃に配属先を正式決定します。入社時には配属部署・勤務地が決まっています。



第2事業部 安来支店  
成田 葉菜さん(25)  
2023年入社

山陰の食を県外へ。  
成約できた時の喜びはひとしお！

成田さんは関西エリアのスーパーなどの営業を担当。電話営業のほか出張に出かけることも多く、現地での商談や展示会出展など、自社商品の提案や魅力発信を行う。「電話でアポを取り、現地で話を聞いてもらい、商品を採用してもらえた時のやりがいはい大きいです」と手応えを感じている。初対面の顧客には緊張することも多いというが「商談前に相手の下調べをする」という上司の教えを実践し、顧客との会話や提案に生かしている。



商品開発部  
高羽 俊輔さん(23)  
2024年入社

先輩のサポートのおかげで  
失敗を乗り越えて挑戦できる！

食育と料理が好きで食品業界に興味を持った高羽さん。県外出身だが、学生時代の旅行をきっかけに山陰が好きになり「食の分野から山陰の魅力を発信したい」と入社した。現在は、コロッケのソースの煮込みや衣つけの試作を担当。狙い通りにいかず落ち込むこともあるというが「チューターの先輩社員の細やかなサポートやアドバイスもあり、質問もしやすく楽しく仕事ができている」と挑戦する毎日だ。



第1事業部 松江支店  
恒松 杏さん(25)  
2023年入社

提案した商品が採用されることが  
仕事のモチベーションに！

大学時代、飲食店のアルバイトで人と接することが楽しく、営業を志望して入社した。現在は配送営業として、松江駅前の居酒屋やホテル、地域の産婦人科、保育園などを回る日々。「提案した商品がメニューに採用されるとうれしいです」と笑顔を見せる。時にはミスをして落ち込むこともあるが、「先輩が自分の失敗談を出して励ましてくれて。皆さんとても優しい」と周囲のフォローに感謝し、自身も頼られる存在に成長することを目指している。



製造部 安来工場  
福島 芽生さん(24)  
2020年入社

きちんと評価してくれるから  
モチベーションにつながります！

福島さんは包装班でコロッケのパック詰め作業や箱詰め作業、包装機械のオペレーター業務などに従事。「幅広い世代や、外国の方と一緒に働いているので、仕事の取り組み方や考え方など多くのことを教わりました」と学びを吸収する。周囲からも「作業が上手になった」「行動が速くなった」と前向きな声かけがあり、「仕事をきちんと評価してくれる職場なので、責任感を持って業務に取り組みたいです」とやる気を見せる。



総合品質保証部  
松本 紗季さん(25)  
2023年入社

食の安全を守る責任感と  
やりがいを感じています！

「品質保証は食の安全を守り、食を支える大切な仕事」と話す松本さん。業務では、新規原料の検品として実食や異物検査などを行うほか、製品表示作成前のアセスメント資料の確認、製品規格書の作成などを担当する。「食品衛生や法律など覚えることは多く、先輩に助けてもらうこともありますが、日々新しいことを学べて面白いです」とやりがいはい大きい。知識を身に付けるため、食品表示検定試験にも挑戦中だ。



春と秋に開催する  
展示会は食の祭典！

春と秋に行うさんれいフーズの総合食品展示会は、大手メーカーを含む80～90社が出展する一大イベント。通年の食材から季節品、新商品などさまざまな食材が並び、来場者に試食をしてもらいながら商品の提案を行っている。



楽天市場に出店！  
一般消費者にも販路拡大

2023年、自社直営ECサイト「イルナス IERNAS」と「イルナス 楽天市場店」を開設し、一般消費者向け販売がスタート。楽天市場店では現在100を超える商品を取り揃えているほか、新たにギフト向け商品の販売を開始するなど、新販路開拓が進む。